

大学生のためのブランドデザインコンテスト「BranCo!2017」

決勝プレゼンテーションイベント開催のお知らせ

3月18日(土) 13:00~ 東大駒場キャンパスにて
テーマ:「平和」に関する新しいブランドをデザインする
~一般観覧の事前申込、下記URLより受付開始~
<http://branco.h-branddesign.com/>



博報堂のブランディング専門組織「博報堂ブランドデザイン」は、東京大学教養学部教養教育高度化機構と共に、5回目を迎える大学生のためのブランドデザインコンテスト「BranCo! (ブランコ)」を開催いたします。

「BranCo!」は、博報堂ブランドデザインが日頃の業務として手掛ける“ブランディング”の重要性や魅力を学生に伝えることを目的に発足させた学習形式の教育コンテストです。東京大学教養学部で開講しているアクティブラーニング型授業「ブランドデザインスタジオ」の拡大企画として2012年に開始し、これまで、のべ99大学1830名もの学生が参加しています。

当コンテストは1チーム3~6名の学生が協力して、課題となるテーマについて様々な視点から調べ、その本質を考え抜き、魅力的な商品やサービスブランドのアイデアをつくりだして競い合うチーム対抗形式のコンテストです。参加学生は、セミナーやアドバイザーを通して博報堂ブランドデザインが持つ「共創」の考え方や、昨今のビジネストレンドでもある「デザイン思考プロセス」など、企画に必要な実践的な知識を学ぶことができます。また、あらゆる商品・サービス開発の基本プロセスとなる「調べる」「考える」「つくる」といった行為をコンテストを通じて高め、「正解のない問い」にチームで挑むことの難しさ面白さを体験するものです。

緻密で論理的な分析力、大胆な発想力、人を動かすデザイン力といった「アイデアの総合力」を競うコンテストで、文系、理系、美術系など学部を問わず、多数の学生が参加し、最終プレゼンでは非常にレベルの高い戦いが繰り広げられています。

「平和」がテーマとなった今年は、全国72大学166チーム716名が参加。過去最大の応募数を記録しました。2017年2月11日(土)の予選プレゼンテーションを勝ち残ったチーム、そして今年初開催の関西地区大会・BranCo!KANSAIの最優秀チームによる決勝プレゼンテーションを、このたび3月18日(土)に実施いたします。なお、本イベントは、一般観覧募集も行います。[\(http://branco.h-branddesign.com/\)](http://branco.h-branddesign.com/)

【開催概要】

3/18 (土) 決勝プレゼンテーションイベント

午前中の一次決勝で上位 24 チームを 4 チームに選出。午後の二次決勝で当 4 チーム + 関西の最優秀チーム、5 チームによる最終プレゼンテーションを実施します（公開は午後からとなります）。あわせて、ゲストによる「平和」をテーマにした講演なども予定しています。

※本イベントは、一般観覧の募集をいたします。下記URLより事前申し込みをお願いいたします。

<http://branco.h-branddesign.com/>

- ・一般観覧は事前申し込みがないとご参加いただけません。
- ・応募者多数の場合は定員になり次第募集を締め切らせていただきます。
- ・中学生以下の方の保護者なしのご観覧は受付けておりません。

日時：2016年3月18日(土) 13:00~18:30 (12:30 受付開始)

場所：東京大学駒場キャンパス 900 番講堂

プレゼンテーションテーマ：「平和」に関する新しいブランドをデザインする

参加費：無料

■当日のプログラム（当日一部変更になる可能性がございます）：

- 13:00- オープニング
- 13:25- ゲストによる特別講演①（国末憲人氏）「戦場で平和を考える」
- 13:50- ゲストによる特別講演②（米良はるか氏）
「クラウドファンディングで幸福を実現する方法」
- 14:35- 決勝プレゼンテーション（5 チーム）
- 16:20- ゲストによる特別講演③（堀潤氏）「ジャーナリズムと平和（仮）」
- 17:00- ゲストによる特別講演④（椎木里佳氏）プレゼンテーション
「JCJK が平和をめぐって本気でプレゼン?! ~Peacetagram~」
- 17:30- 授賞式

【主催】

博報堂ブランドデザイン/東京大学教養学部 教養教育高度化機構

【後援】

朝日新聞社

【協力】

キャリア大学/READYFOR（株） / （株）博報堂プロダクツ

【特別講演について】

当日は、下記ゲストの方による「平和」をテーマにした特別講演を予定しています。



国末憲人氏（朝日新聞 GLOBE 編集長）

1963年岡山県生まれ。1985年大阪大学卒業。1987年パリ第二大学新聞研究所を中退し朝日新聞社に入社。パリ支局長、論説委員を経て、現在は GLOBE 編集長、青山学院大学仏文科非常勤講師。

著書に『自爆テロリストの正体』『サルコジ』『ミシュラン 三つ星と世界戦略』（いずれも新潮社）『ポピュリズムに蝕まれるフランス』『イラク戦争の深淵』『巨大「実験国家」EUは生き残れるのか？』（いずれも草思社）『ユネスコ「無形文化遺産」』（平凡社）『ポピュリズム化する世界』（プレジデント社）など。



米良はるか氏（株式会社 READYFOR 社長）

1987年生まれ。2012年慶應義塾大学メディアデザイン研究科修了。2010年スタンフォード大学へ留学し、帰国後、2011年3月日本初のクラウドファンディングサービス READYFOR の立ち上げを行い、NPO やクリエイターに対してネット上で資金調達を可能にする仕組みを提供している。World Economic Forum グローバルシェイパーズ 2011 に選出され、日本人史上最年少でスイスで行われたダボス会議に参加。

St.Gallen Symposium Leaders of Tomorrow、内閣府 国・行政のあり方懇談会 委員等国内外の数多くの会議に参加。2014年7月 READYFOR 株式会社 代表取締役役に就任。2016年、第1回日本サービス大賞優秀賞を受賞。



堀潤氏（ジャーナリスト）

1977年生まれ。01年にNHK入局。「ニュースウオッチ9」リポーターとして主に事件・事故・災害現場の取材を担当。独自取材で他局を圧倒し報道局が特ダネに対して出す賞を4年連続5回受賞。10年、経済ニュース番組「Biz スポ」キャスター。12年より、アメリカ・ロサンゼルスにある UCLA で客員研究員。

日米の原発メルトダウン事故を追ったドキュメンタリー映画「変身 Metamorphosis」を制作。13年よりフリーランス。NPO 法人「8bitNews」代表。淑徳大学客員教授。



椎木里佳氏（株式会社 AMF 社長）

1997年生まれ。慶應義塾大学文学部在学。中学3年時に株式会社 AMF を創業。現在、総勢80名の女子中高生で組成される「JCJK 調査隊」を率い、10代のマーケティング調査、アドバイス等をナショナルクライアントを中心に提供。また、スマートフォン向けアプリ開発などの事業活動を展開。起業家としてだけでなく、若者代表としてもメディア出演多数。2015年 株式会社 TOKYO GIRLS COLLECTION、タグピク株式会社の顧問就任。Forbes asia 30under30 受賞。

著書には『女子高生社長、経営を学ぶ。』（ダイヤモンド社）、『大人たちには任せておけない！政治のこころ—18歳社長が斬る、政治の疑問—』（マガジンハウス社）

【博報堂ブランドデザイン】

博報堂内の次世代型コンサルティング専門チーム。マーケッター、デザイナー、コピーライター、一級建築士、組織開発コンサルタント、リサーチャーなど、多彩なバックグラウンドを持ったメンバーより構成され、戦略からアウトプットまでをワンストップで実行するのが特徴。ブランド戦略立案をはじめ、組織・風土改革、ビジョン策定、新事業開発、商品・サービス開発、CI・VI、ネーミング、空間デザインといった様々なビジネス領域をカバーし、クライアントや外部専門家と深くコラボレーションする「共創型」のプロジェクトを得意としている。

(代表：宮澤正憲)

- ・ 博報堂ブランドデザイン <https://h-branddesign.com/>
- ・ 公式 Facebook ページ <https://www.facebook.com/h.branddesign/>



hakuodo brand design

【東京大学教養学部教養教育高度化機構ブランドデザインスタジオ】

ブランドデザインスタジオは、東京大学教養学部の「21 KOMCEE (理想の教育棟)」を舞台に、「共創」の手法により商品やブランドなどの新しい価値を発想・構想する特別授業プログラム。「正解のない問いに共に挑む」というコンセプトの元、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を、アクティブラーニング形式により学ぶことを目的としている。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド・コンサルタントがプログラム・デザインおよびファシリテーションを担当。

(責任者：真船文隆 東京大学 大学院総合文化研究科 教授)

